

# 官民人事交流に関する 各府省等アンケートの結果概要

調査対象:各府省及び行政執行法人の人事担当部局

有効回答数:49組織(一部府省については、複数の人事系統別に回答している。)

アンケートの実施期間:令和5年11月8日～令和5年12月21日

アンケートの実施方法:調査対象に対してメールで回答リンクURLを送付し、オンラインにより回答

※ 各問のグラフ中の「n」は、それぞれの問に対する有効回答数

## 交流派遣

- [1 制度を活用している理由](#)
- [2 公務組織に対する効果](#)
- [3 職員個人に対する効果](#)
- [4 効果が得られなかったケース](#)
- [5 人事施策上の位置づけ](#)
- [6 派遣者の選定で重視している点](#)
- [7 今後の制度の活用意向](#)
- [8 派遣したい職員の年代と希望業務](#)

## 交流採用

- [9 制度を活用している理由](#)
- [10 公務組織に対する効果](#)
- [11 効果が得られなかったケース](#)
- [12 制度の活用にあたって苦労した点](#)
- [13 交流採用者に対する支援](#)
- [14 交流採用者に対する支援\(府省と交流採用者の認識差\)](#)
- [15 人事交流開始のきっかけ](#)
- [16 今後の制度の活用意向](#)
- [17 採用したい者の人物像](#)

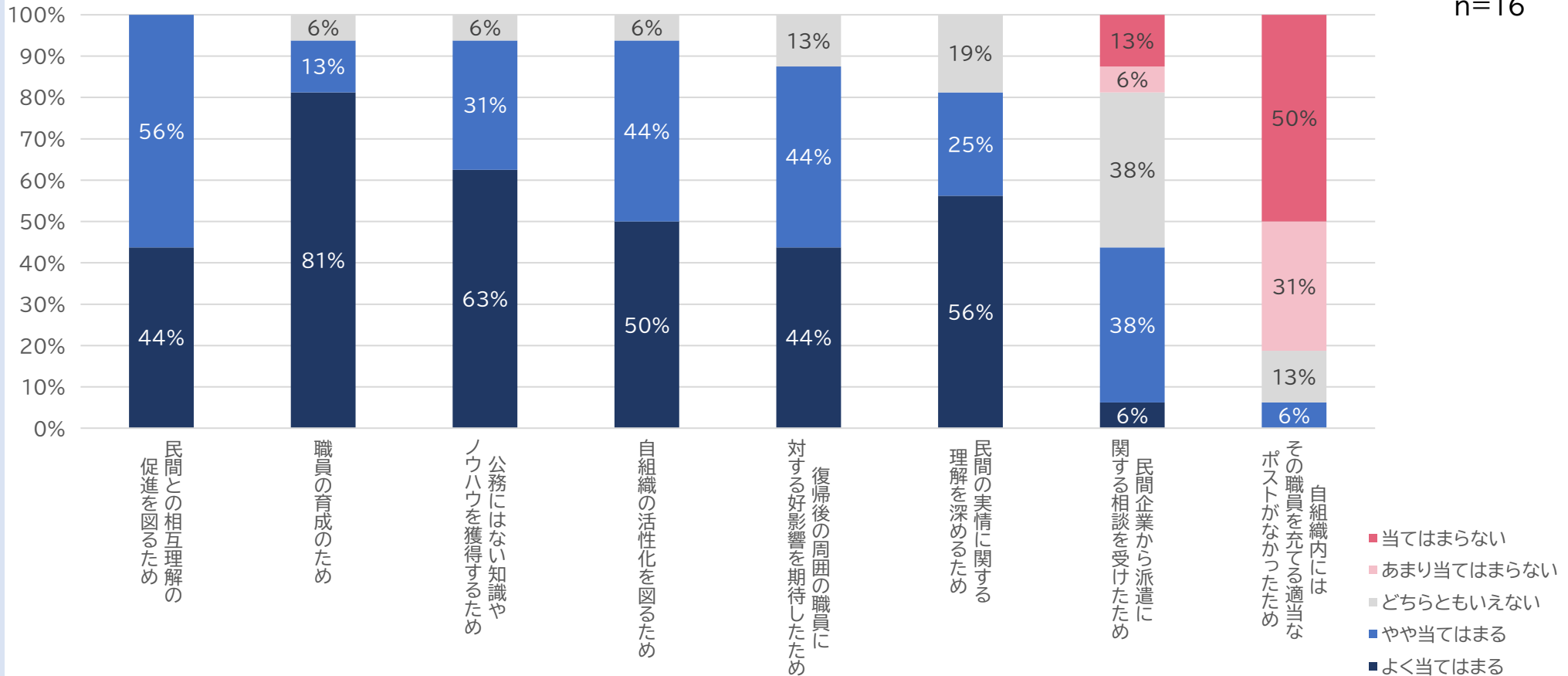
※ 番号1から6の設問は、令和3年11月1日以降において、交流派遣により、職員が民間企業に在籍していたことがあると回答した16組織に対し、番号9から13、15の設問は、同日以降において、交流採用者が在籍していたことがあると回答した34組織に対し、それぞれ質問を行った。

# 1 制度を活用している理由(交流派遣)

「民間との相互理解の促進を図るため」「職員の育成のため」「公務にはない知識やノウハウを獲得するため」「自組織の活性化を図るため」に対して、9割超が肯定的な回答

交流派遣を活用している理由についてお伺いいたします。以下の各項目について、お考えに一番近いものを選択してください。

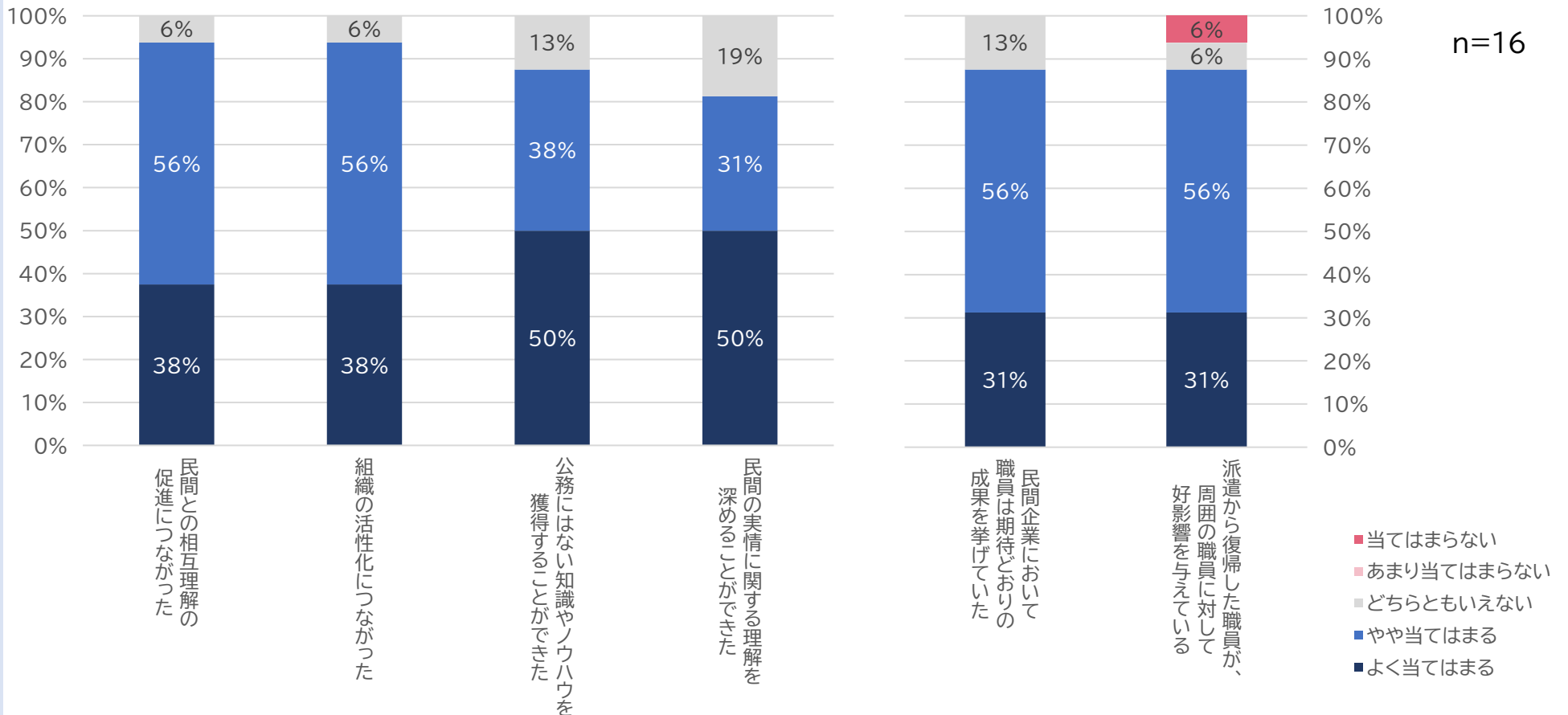
n=16



# 2 公務組織に対する効果(交流派遣)

「民間との相互理解の促進につながった」「組織の活性化につながった」に対して、9割超が肯定的な回答  
 交流派遣者の挙げた成果や復帰後の周囲への好影響についても、肯定的な回答が8割超

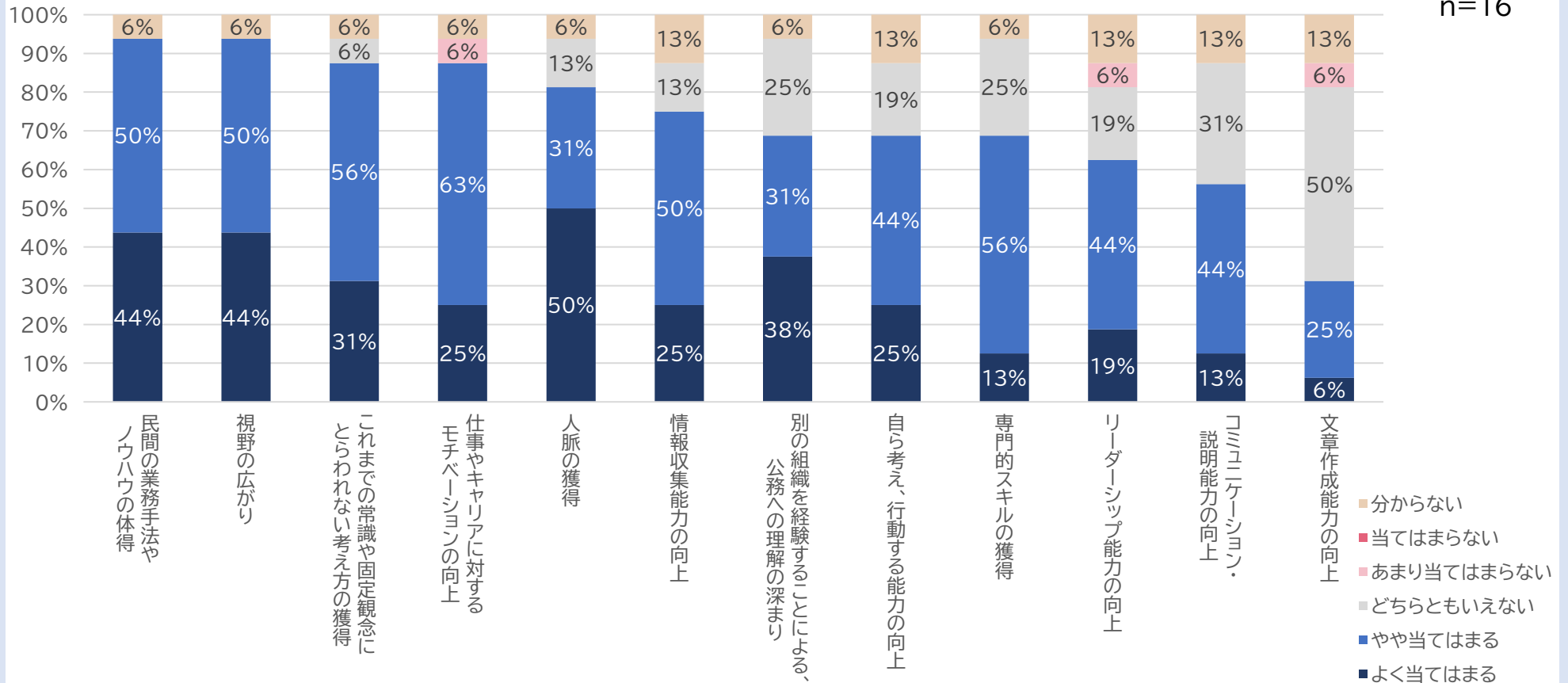
交流派遣を活用したことによる組織に対する効果やそれに関連する事項についてお伺いいたします。以下の各項目について、お考えに一番近いものを選択してください。



# 3 職員個人に対する効果(交流派遣)

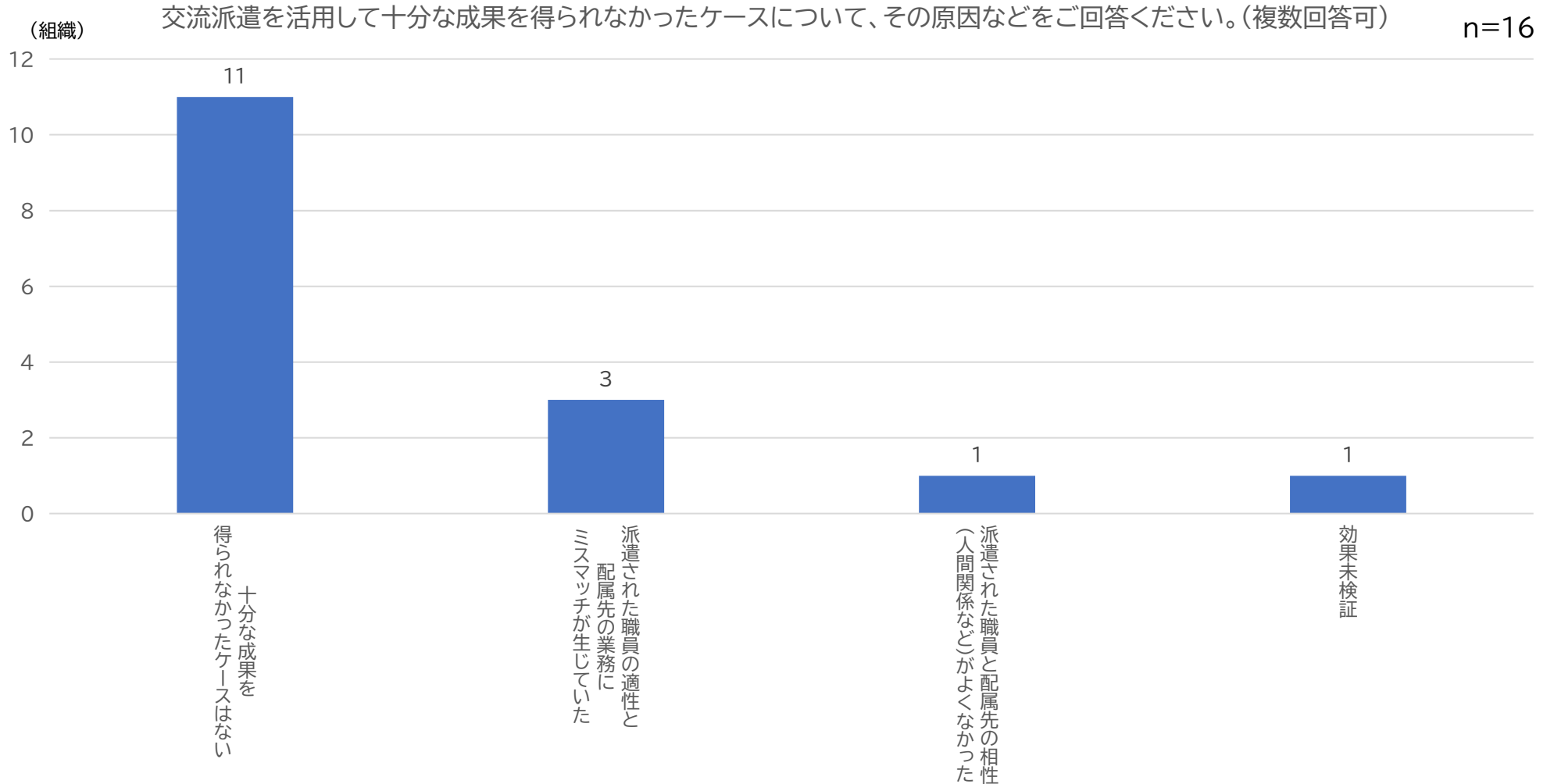
「民間の業務手法やノウハウの体得」、「視野の広がり」、「これまでの常識や固定観念にとらわれない考え方の獲得」、「仕事やキャリアに対するモチベーションの向上」の順に、肯定的な回答が多い。

民間企業において勤務を経験することにより、職員にどのような成長や変化が生じていますか。以下の各項目について、お考えに一番近いものを選択してください(回答時点で派遣から復帰した職員がいないなどの理由で検証ができていない場合は、分からないを選択してください。)



# 4 効果が得られなかったケース(交流派遣)

「十分な成果を得られなかったケースはない」との回答が約7割を占める。

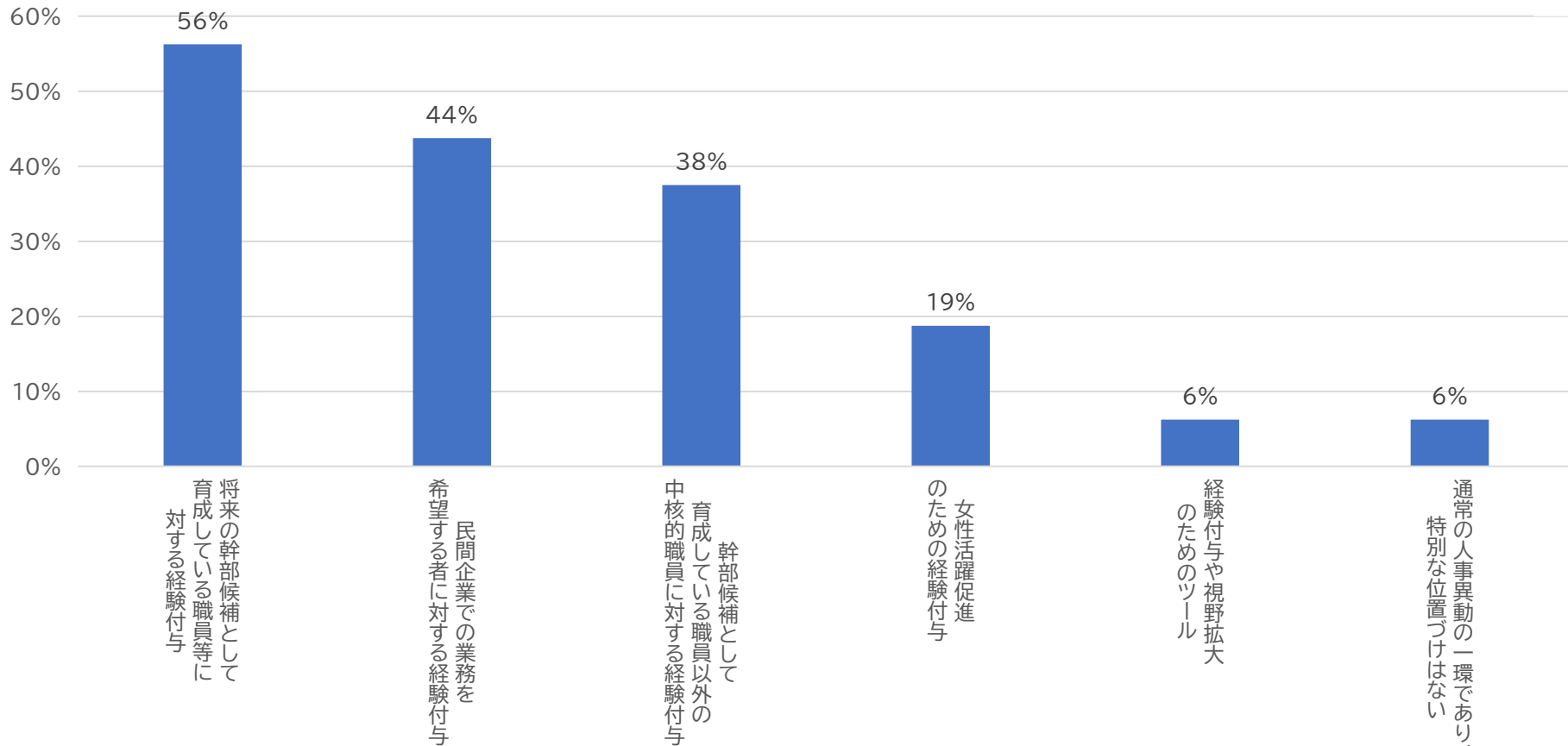


# 5 人事施策上の位置づけ(交流派遣)

交流派遣を「将来の幹部候補として育成している職員等に対する経験付与」として位置づけている組織が5割を超える。  
 このほか、「民間企業での業務を希望する者に対する経験付与」「幹部候補として育成している職員以外の中核的職員に対する経験付与」として位置づけている組織が約4割

交流派遣について、人事施策上どのように位置づけていますか。(複数回答可)

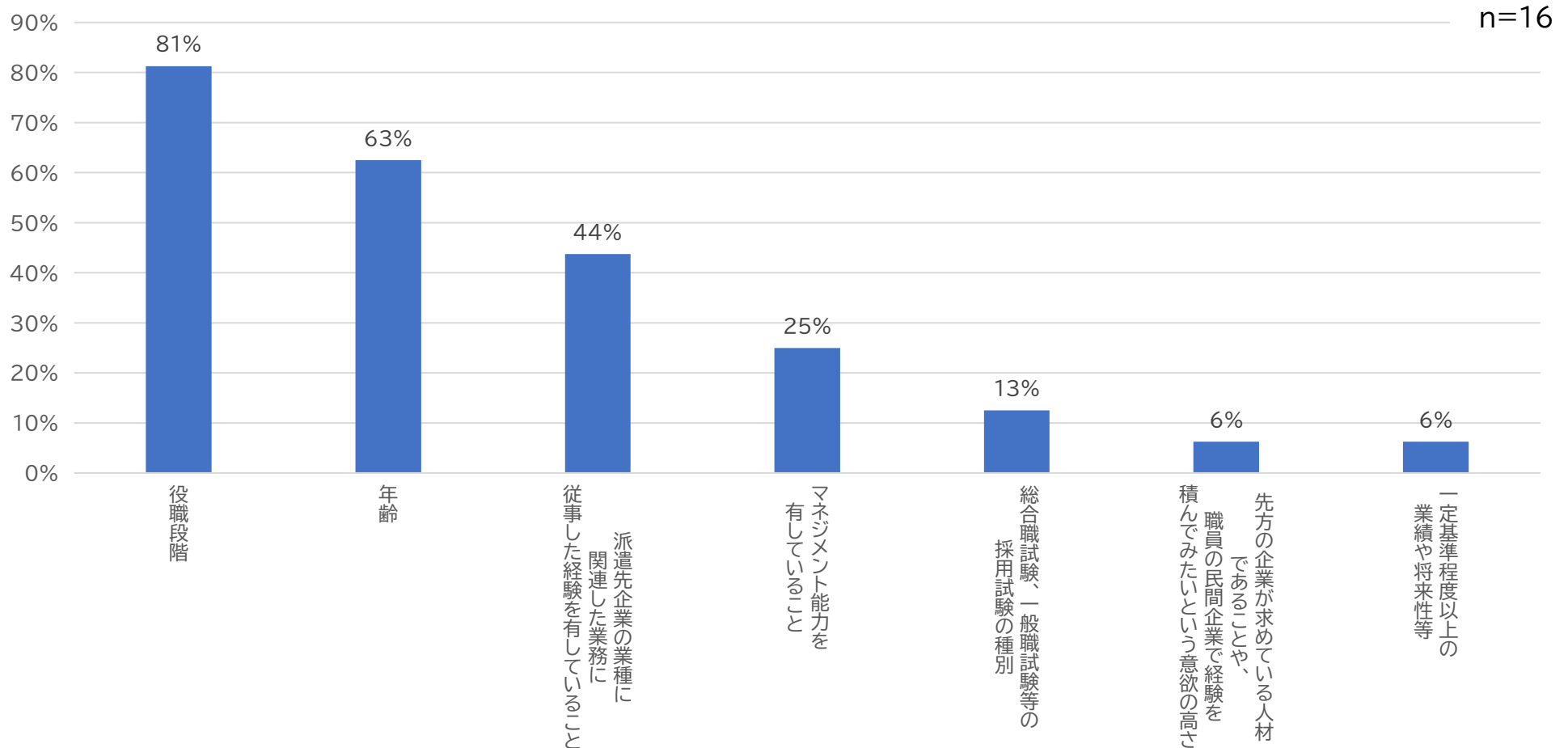
n=16



# 6 派遣者の選定で重視している点(交流派遣)

「役職段階」を重視している組織が8割を超える。  
 次いで、「年齢」「派遣先企業の業種に関連した業務に従事した経験を有していること」を重視している組織の割合が高い。

交流派遣する職員を選定する上で特に重視している点について回答してください。(上位3つまで回答可)

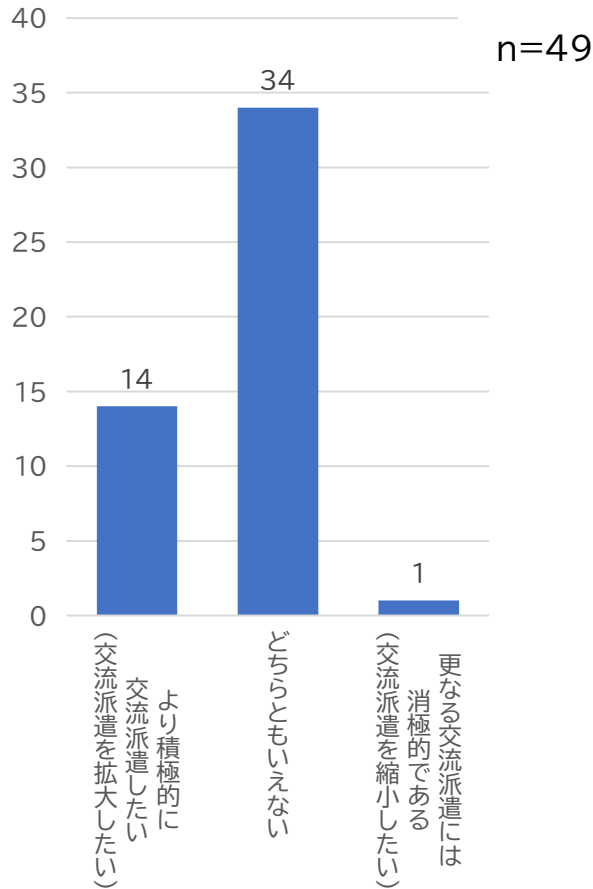




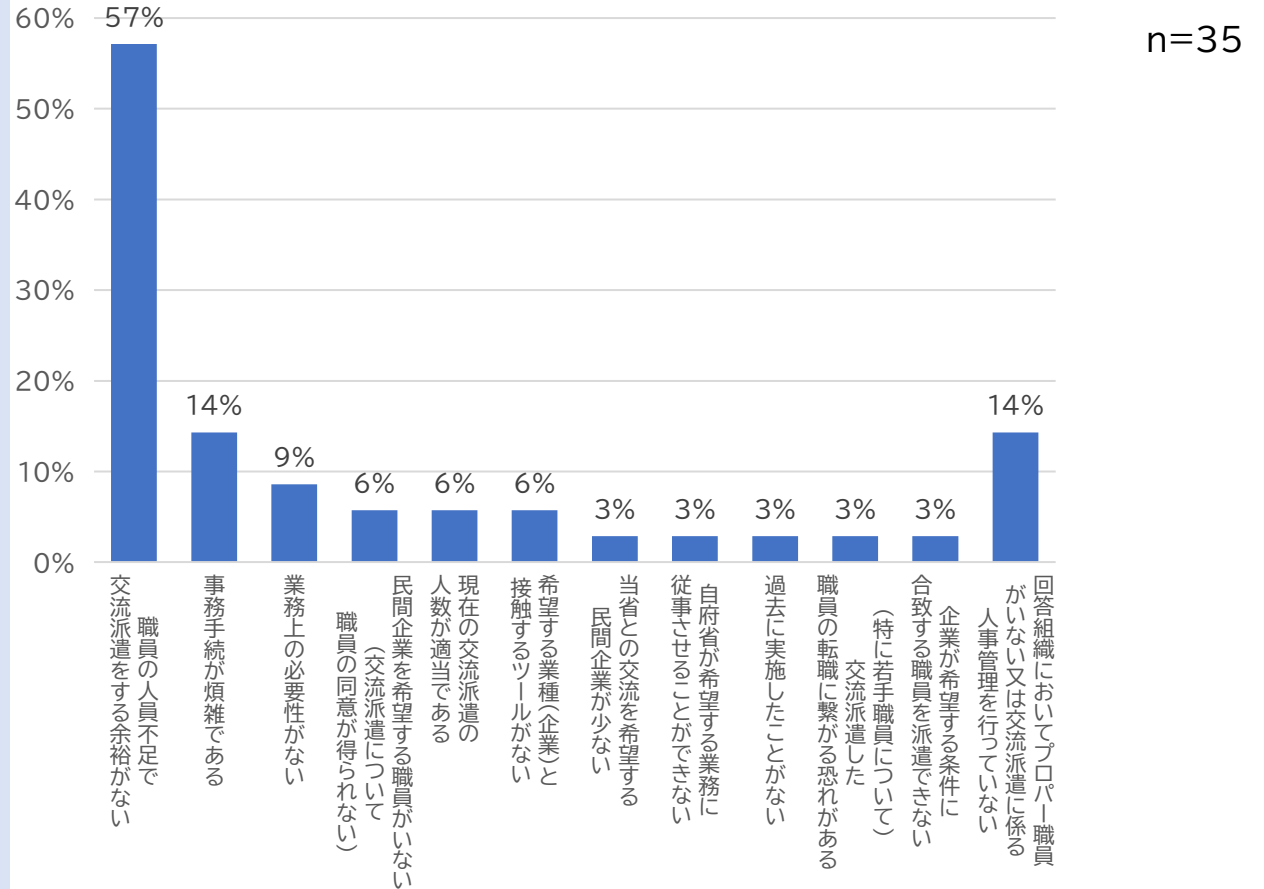
# 7 今後の制度の活用意向(交流派遣)

交流派遣の更なる活用に積極的な組織は、約3割  
 更なる交流派遣に積極的ではない理由は、「職員の人員不足で交流派遣をする余裕がない」との回答が約6割

交流派遣を今後活用することについて、どのように考えていますか。



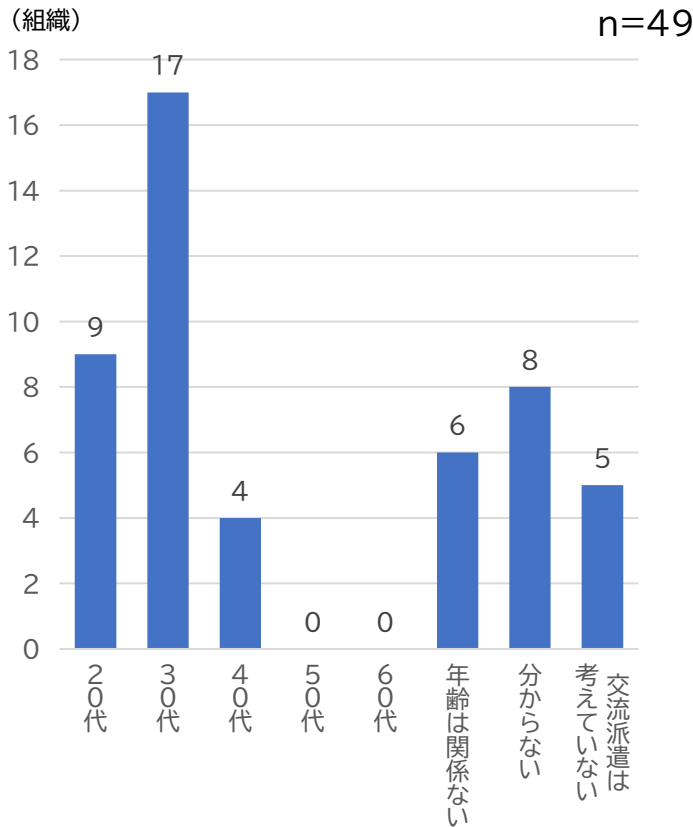
「更なる交流派遣には消極的である(交流派遣を縮小したい)」又は「どちらともいえない」を選択した理由を回答ください。(複数回答可)



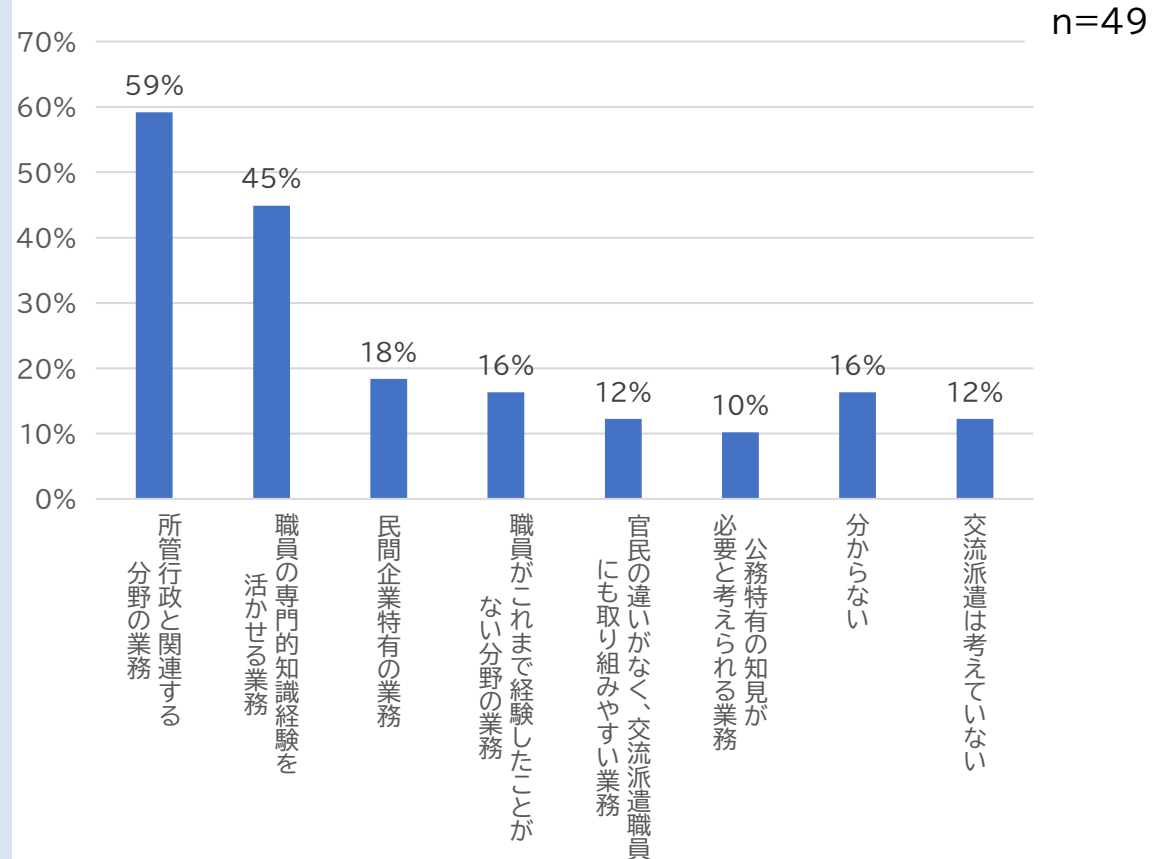
# 8 派遣したい職員の年代と希望業務(交流派遣)

交流派遣で派遣したい国家公務員の年代は、「30代」が最多  
 交流派遣職員には、「所管行政と関連する分野の業務」を経験させたいとする回答が約6割

仮に交流派遣を行う場合、どのような年代の職員を特に派遣したいとお考えですか。(上位1つを回答)



仮に交流派遣を行う場合、どのような業務を派遣先で経験させたいとお考えですか。(上位3つまで回答可)

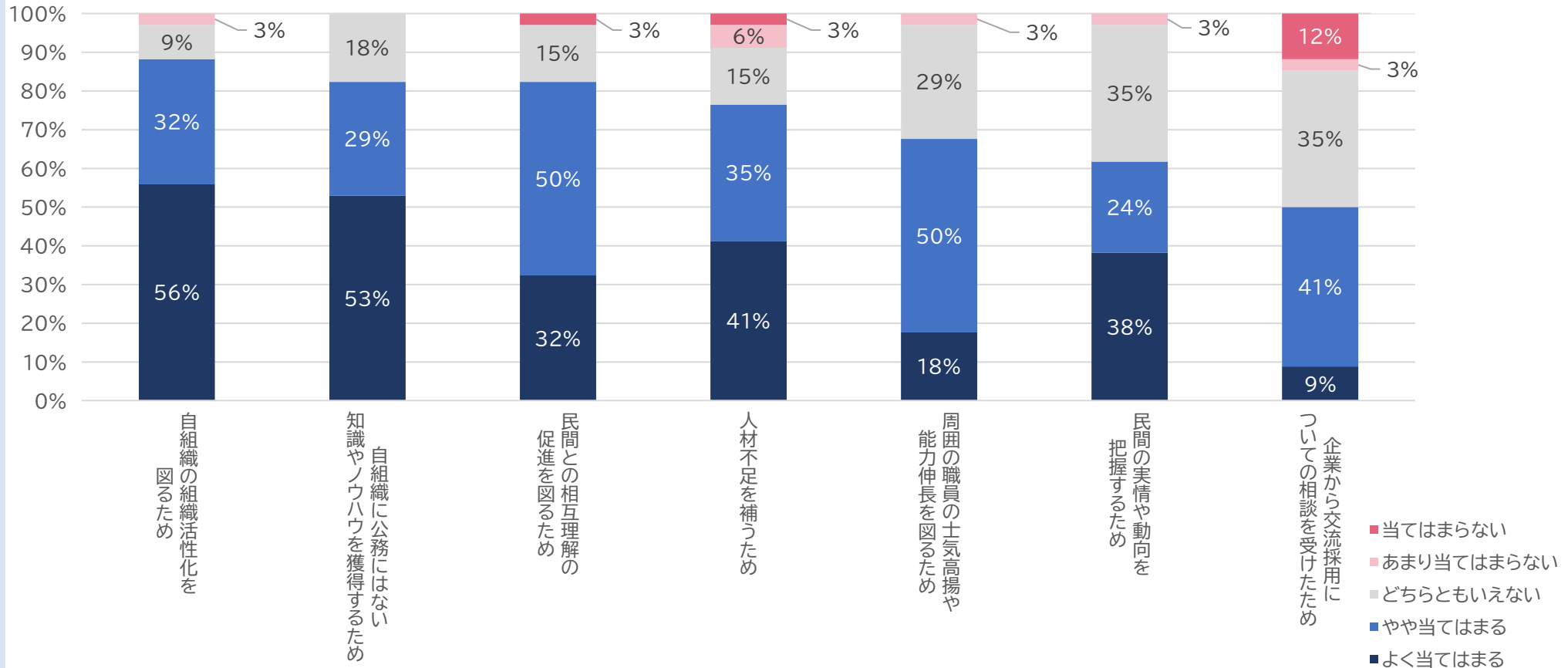


# 9 制度を活用している理由(交流採用)

「自組織の組織活性化を図るため」「自組織に公務にはない知識やノウハウを獲得するため」「民間との相互理解の促進を図るため」に対し、8割超が肯定的な回答

交流採用を活用した理由についてお伺いいたします。以下の各項目について、お考えに一番近いものを選択してください。

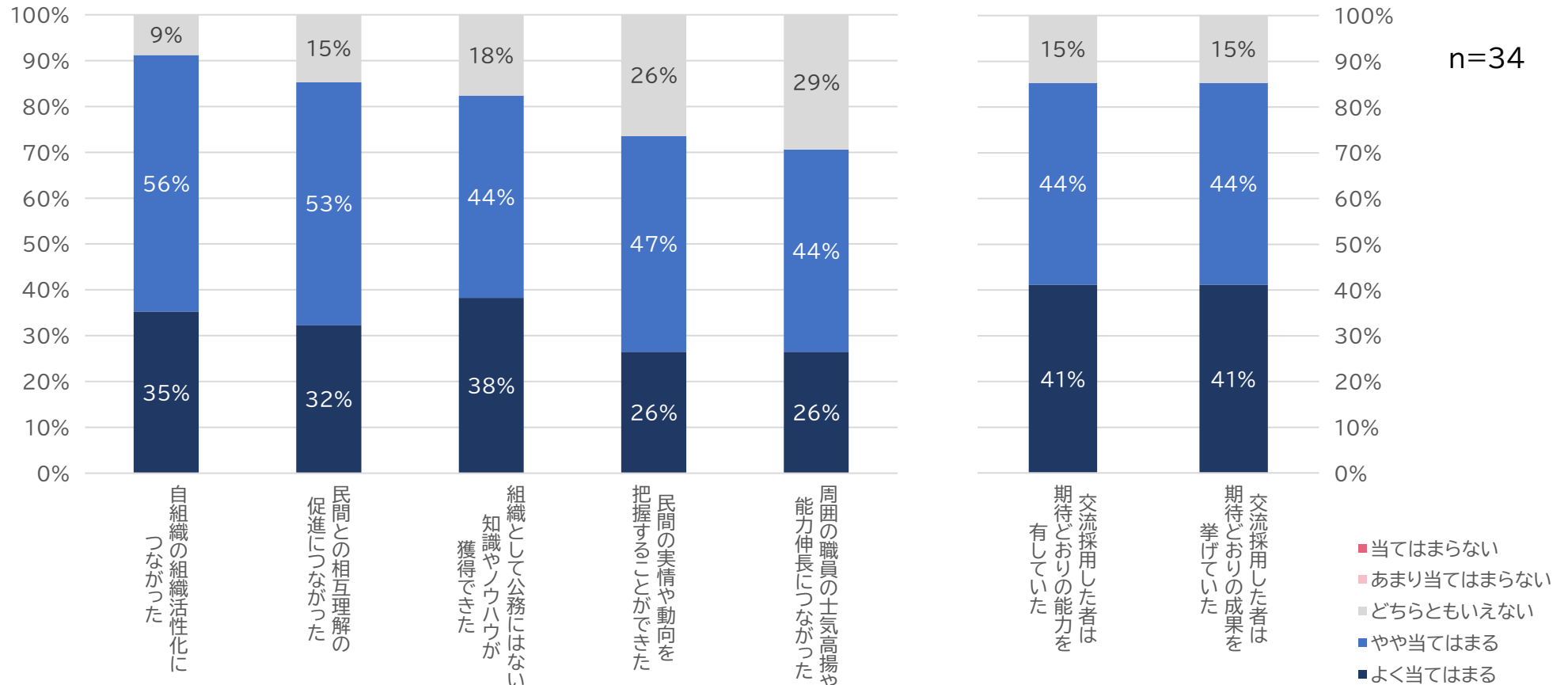
n=34



# 10 公務組織に対する効果(交流採用)

「自組織の組織の活性化につながった」「民間との相互理解の促進につながった」「組織として公務にはない知識やノウハウが獲得できた」に対して、8割超が肯定的な回答  
交流採用者の能力・成果についても、肯定的な回答が8割超

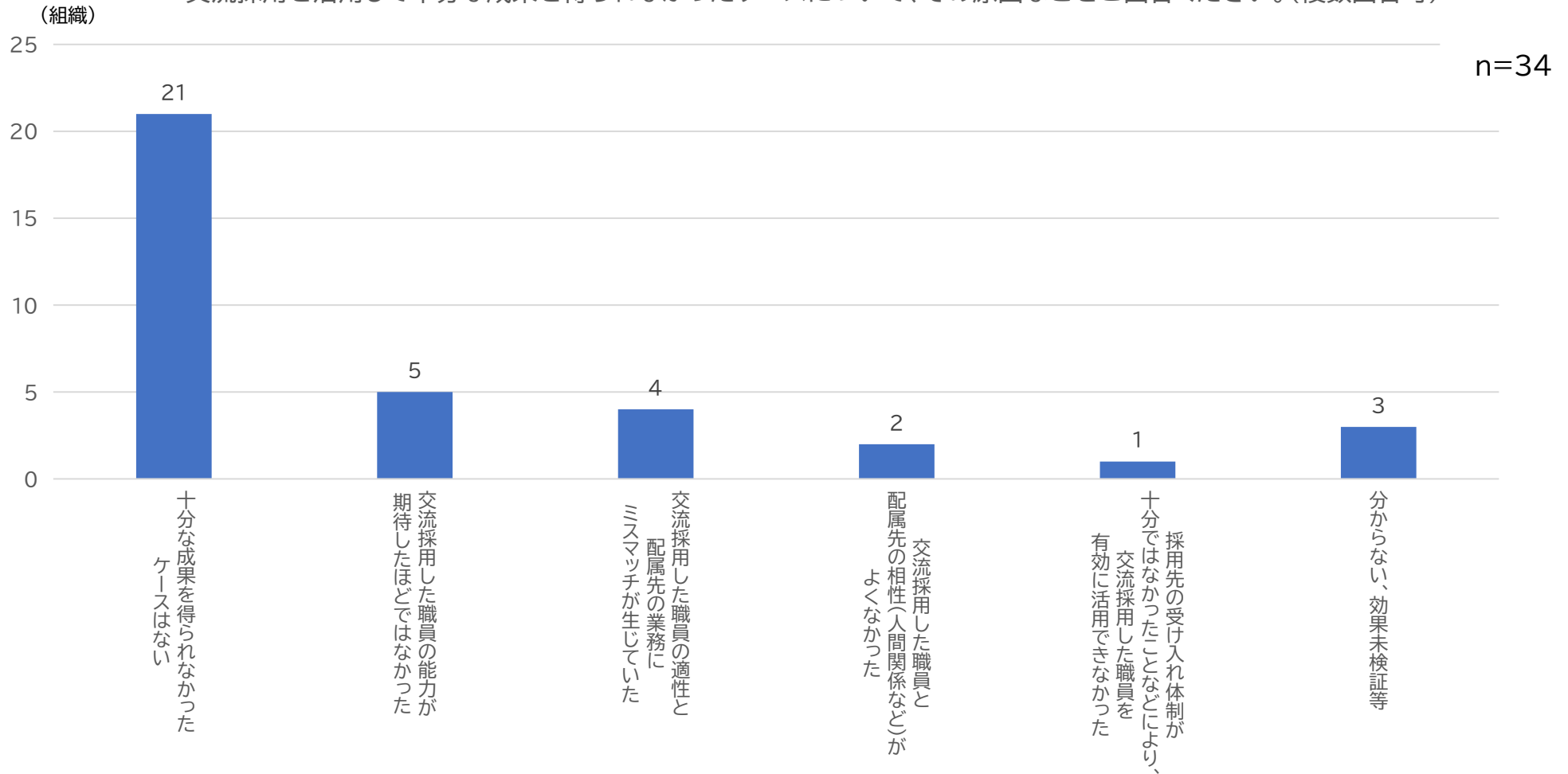
交流採用を活用したことによる効果やそれに関連する事項についてお伺いいたします。以下の各項目について、お考えに一番近いものを選択してください。



# 11 効果が得られなかったケース(交流採用)

「十分な成果を得られなかったケースはない」との回答が6割超を占める。

交流採用を活用して十分な成果を得られなかったケースについて、その原因などをご回答ください。(複数回答可)

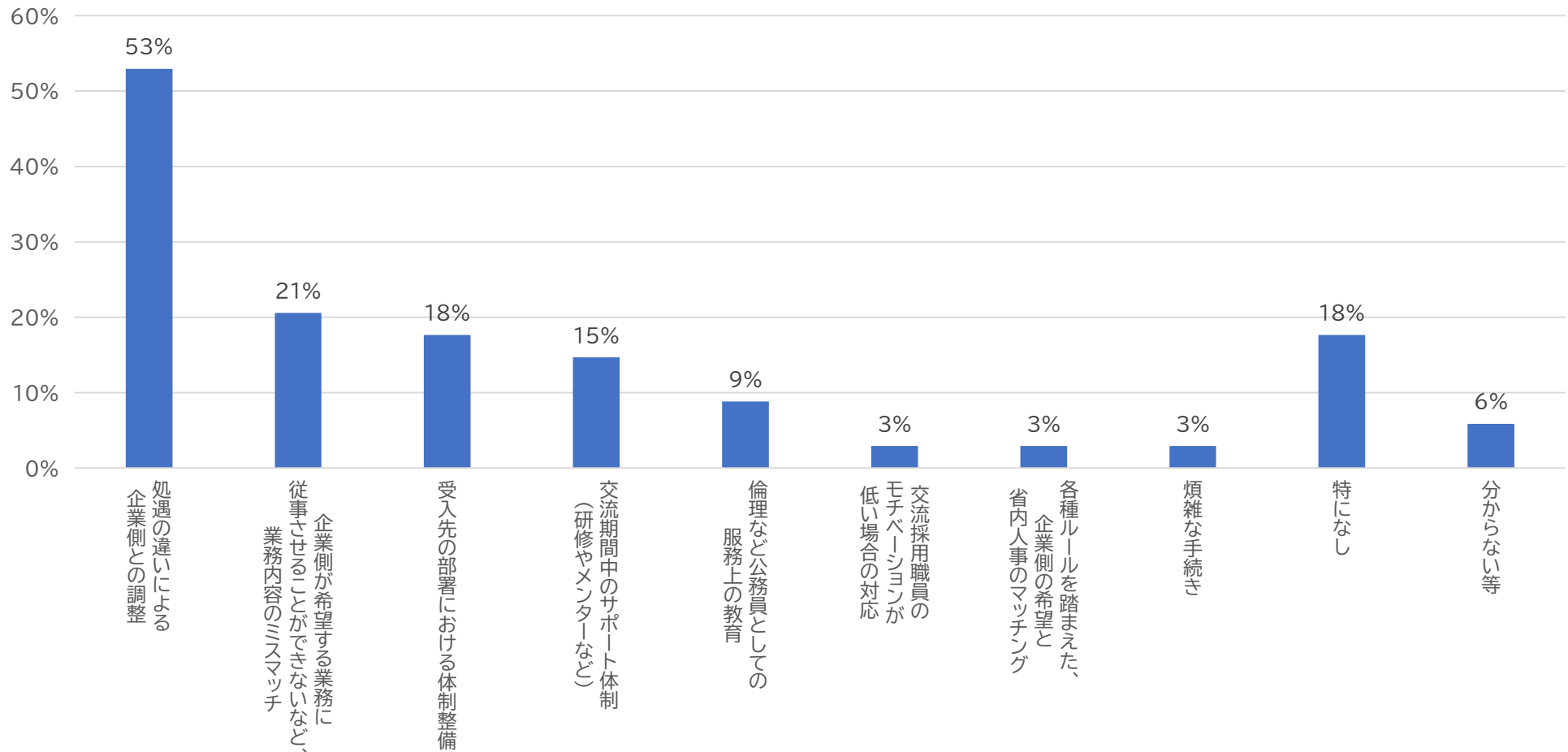


# 12 制度の活用にあたって苦労した点(交流採用)

「処遇の違いによる企業側との調整」に苦労したと回答した組織が、約5割

交流採用を活用するに当たり特に苦労した点についてご回答ください。(複数回答可)

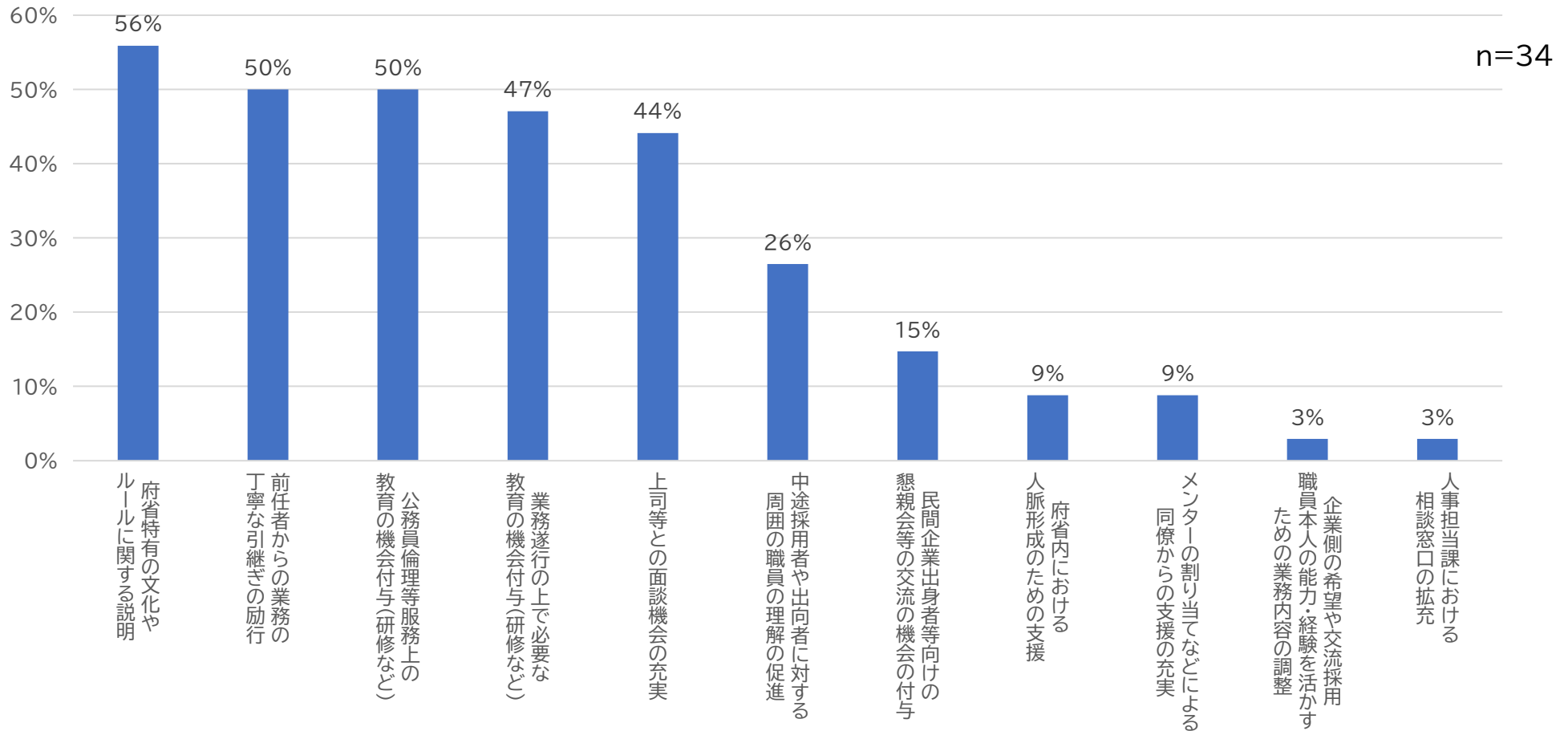
n=34



# 13 交流採用者に対する支援

5割以上の組織が、「府省特有の文化やルールに関する説明」「前任者からの業務の丁寧な引継ぎの励行」「公務員倫理等サービス上の教育の機会付与」に力を入れていると回答

交流採用職員に対するサポートについて、力を入れて行っているものを全て選択してください。(複数回答可)

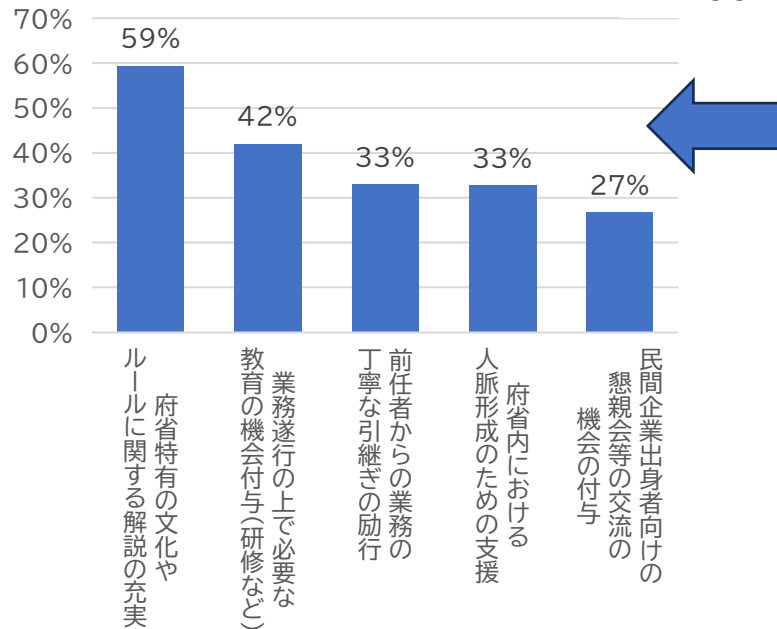


# 14 交流採用者に対する支援(府省と交流採用者の認識差)

交流採用者に対するアンケートでは、約6割の交流採用者が、「府省特有の文化やルールに関する解説の充実」について、取り組みや改善があれば、より満足度が向上すると回答しており、交流採用者の認識(改善すべき点)と府省の意識との間にギャップがある。また、約3割の交流採用者が、取り組みや改善があれば、より満足度が向上すると回答した「府省内における人脈形成のための支援」「民間企業出身者向けの懇親会等の交流の機会の付与」について、力を入れて行っていると回答した組織の割合は、いずれも2割に満たない。

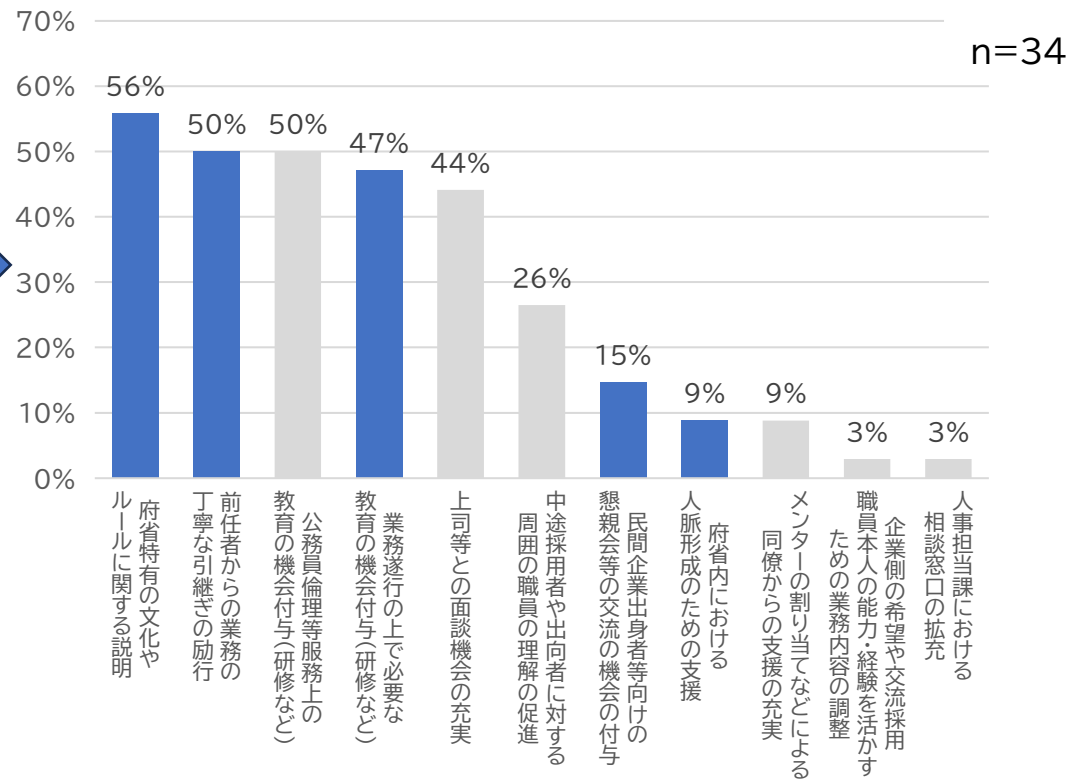
交流採用者が交流先府省等に求める支援(改善点)  
(交流採用者に対するアンケート結果)(上位5項目を抜粋)

官民人事交流期間中における交流先府省の組織、上司及び同僚からの支援について、どのような取り組みや改善があれば、より満足度が向上しますか。(上位3つまで回答可)



府省等が力を入れている支援

前ページのグラフ再掲

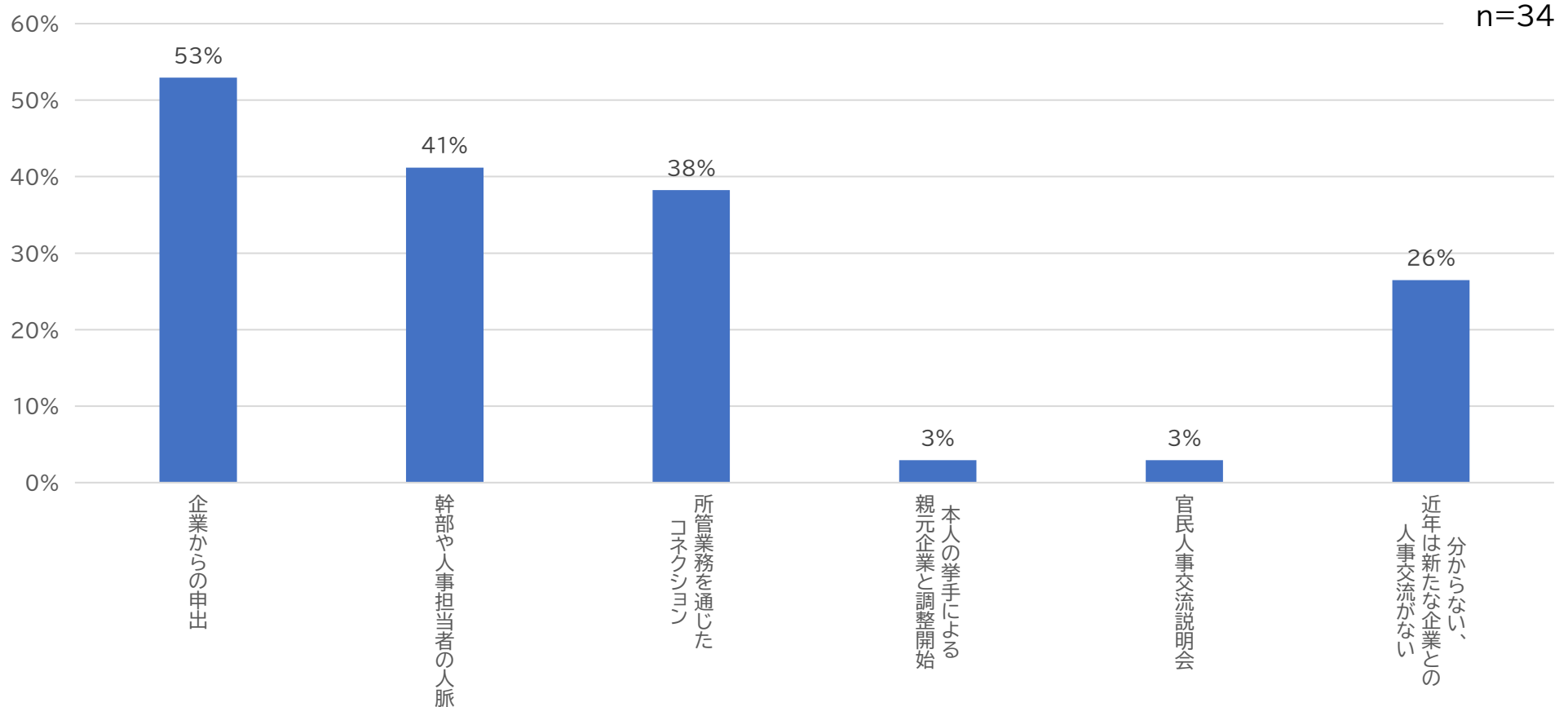




# 15 人事交流開始のきっかけ(交流採用)

新たな企業との人事交流が開始されるきっかけとなったものは、「企業からの申出」とする回答が約5割  
このほか「幹部や人事担当者の人脈」「所管業務を通じたコネクション」とする回答も約4割

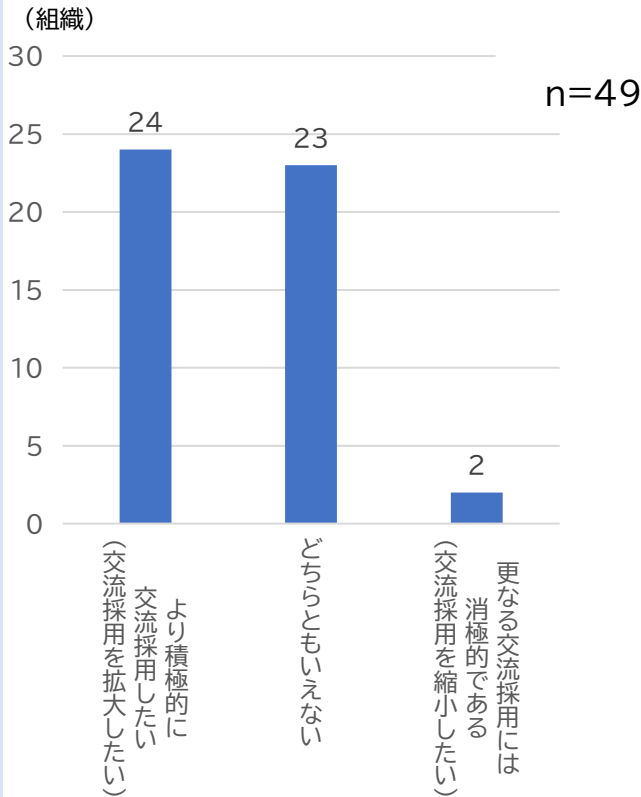
新たな企業との人事交流が開始されるきっかけとなったものとして該当するものを、以下から選択してください。  
(複数回答可)



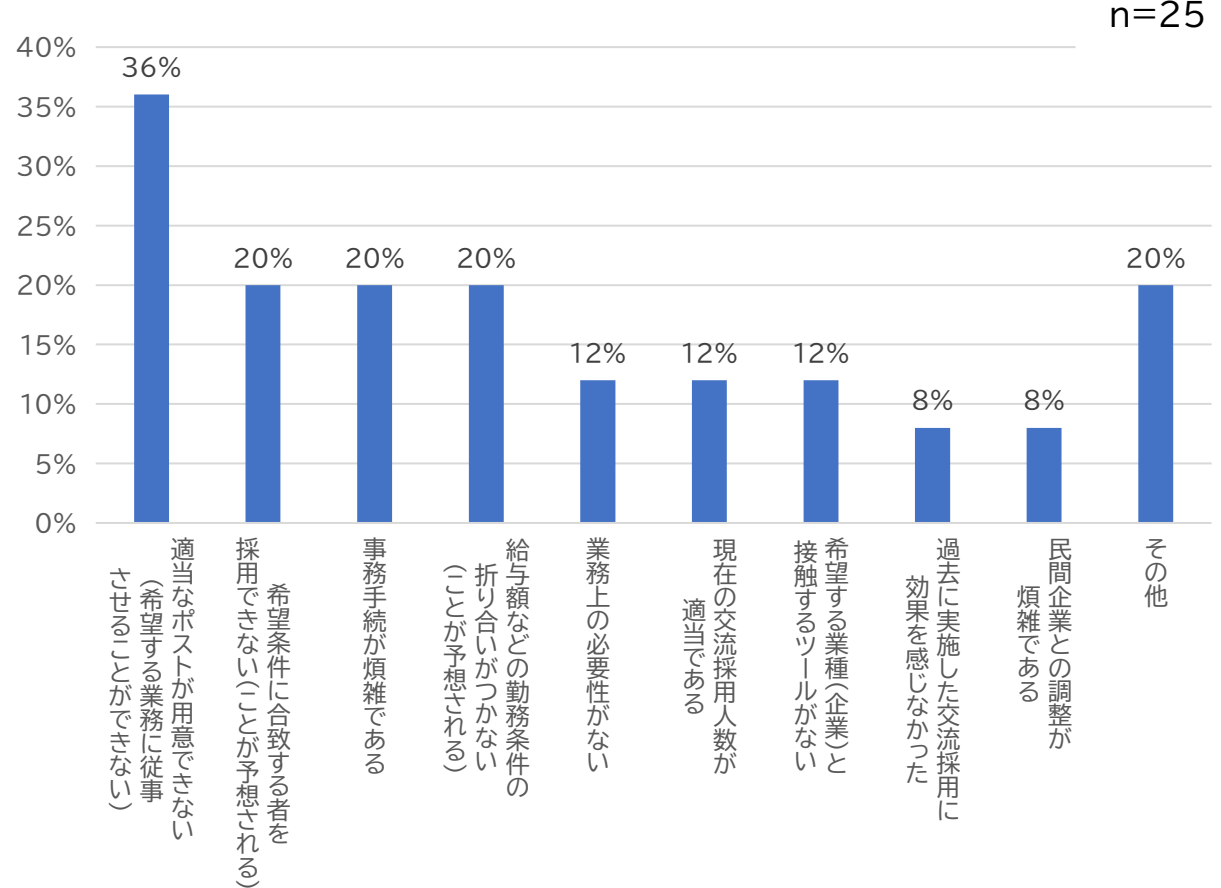
# 16 今後の制度の活用意向(交流採用)

交流採用の更なる活用に積極的な組織は約5割  
 更なる交流採用に積極的ではない理由は、「適当なポストが用意できない」との回答が約4割

交流採用を今後活用することについて、どのように考えていますか。



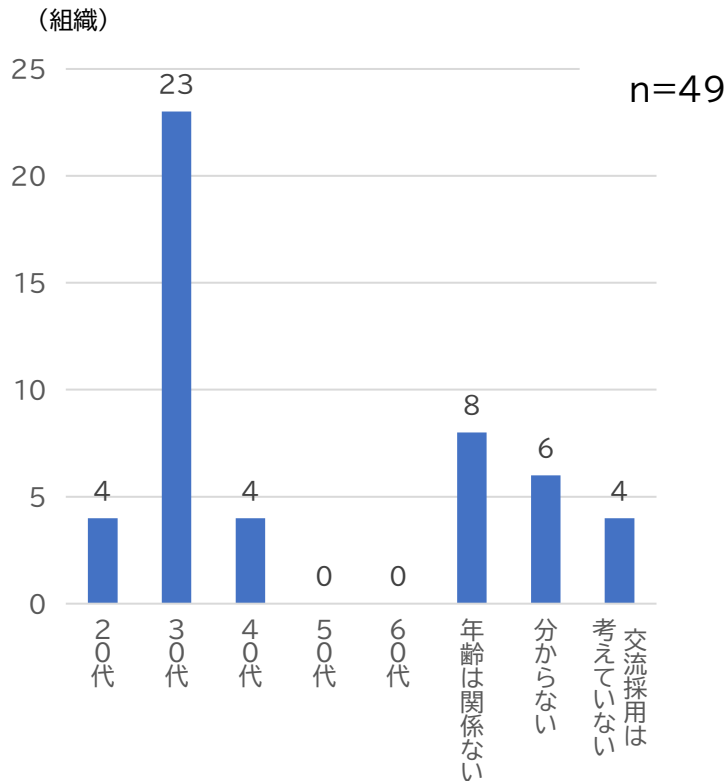
「更なる交流採用には消極的である(交流採用を縮小したい)」又は「どちらともいえない」を選択した理由を回答ください。



# 17 採用したい者の人物像(交流採用)

各府省等が交流採用したいとする年代は、「30代」が最多  
 交流採用職員には、「異なる環境や組織文化に適応できる」ことを期待する回答が約6割

交流採用を行う場合、どのような年代の方を特に採用したいですか。(上位1つを回答)



交流採用を行う場合、どのような能力や経験を有する者を特に受け入れたいですか。(上位3つまで回答可)

